

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第24号
2014年1月発行



筑波山に登りました。
たま保育園 園児20名

もくじ

CONTENTS

平成25年度の表彰を受けて
・・・ 2

2回障害者雇用優良事業所表彰
地球にやさしい企業表彰
天皇陛下からの御下賜金

つながり∞ふくしま2013
・・・ 3

委員会トピックス ・・・ 3
次世代育成委員会

児童施設トピックス ・・・ 4
たま保育園
牛ヶ谷保育園
二園合同事業



研修参加報告 ・・・ 5
法人内リーダー職員研修
オールジャパンケアコンテスト
介護甲子園

芳香会活動報告 ・・・ 6
芳香会スケジュール ・・・ 6
編集後記 ・・・ 6

2011年3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様へ、改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。

平成二十五年度の 表彰を受けて



当法人で行っている事業・活動について、今年度三つの表彰を頂くことが出来ました。ここでは各表彰を受けての感謝を述べさせて頂くと共に、受賞内容をご紹介させて頂きます。

障害者雇用優良事業所表彰

平成二十五年九月十日（火）、「障害者雇用優良事業所 高齢・障害・求職者支援機構理事長努力賞」授与式が華やかに開催されました。

この表彰は、障害者を積極的に多数雇用している事業所に対し、その努力と功績を称え、授与されるものです。芳香会では、障害のある方を継続的に多数雇用している点、障害のある方がそれぞれの個性や能力を発揮できるように、働きやすい仕事環境の整備や研修を積極的に取り組んでいる点が評価され、受賞となりました。

雇用障害者八名とその指導職員も参加し、受賞のインタビューでは「これからも、一緒に頑張っていこうね」とお互いに喜びを分かち合う姿がありました。この受賞は雇用障害者と共に歩んできた結果であり、今後も継続的に障害者の雇用促進・障害者と共に働ける環境作りを積極的に取り組んでいきたいと思えます。



青嵐荘つくし園

サービス管理責任者 杉野 隆亮

地球にやさしい企業表彰

芳香会の結城地区では平成二十一年より、「クリングリーン作戦」と称し、道路清掃と花の植栽などの環境美化活動を実践しております。この活動は、青嵐荘養護老人ホームのご利用者・職員と、近隣の高校生の合わせて四十名程度で始まりました。

その後、結城市環境美化パートナーシップに登録したことで市より備品の借用や広報活動等の支援を受けられるようになり、徐々に規模が拡大していき、参加者の輪が広がっていききました。現在では、自治会や近隣企業等と「協働で行なう地域全体の活動」へ発展し、百名を超える参加者数となっています。

そしてこの度の平成二十五年十二月三日（火）、結城市の推薦により、茨城県から「地球にやさしい企業表彰」を受けることができました。

地域の皆様とともに歩んだ活動が、このような形で表彰されたことを大変嬉しく思います。この喜びを皆様と共有し、活動継続に努めていきたいと思えます。

青嵐荘養護老人ホーム

生活相談員 坂本 健太郎



天皇陛下より御下賜金を 賜りました



平成二十五年度は全国の優良民間社会福祉事業施設等六十七施設・団体が選ばれ、茨城県では当芳香会青嵐荘特別養護老人ホームに下賜さ

れました。伝達式は十二月十八日に県庁内で行われ、茨城県保健福祉部長土井幹雄様から宇留野光子理事長へ、宮内庁長官風岡典之様からの伝達書並びに金一封が手渡され、有り難く拝受いたしました。



芳香会としては青嵐荘養護老人ホーム（平成元年度）、青嵐荘療護園（平成十二年度）に次ぎ、三回目の御下賜金拝受の栄誉となりました。

さらに青嵐荘特別養護老人ホームは今年創立四十周年、二重の喜びとなりました。この栄誉はご利用者・ご家族をはじめとして、地域の皆様、関係各位のご支援、さらには日々誠実に職務に励む職員の真摯な努力の賜物と存じ、心からの感謝を申し上げます。

私もこれを機に、より一層の精進を重ねる所存でございますので、倍旧のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。御下賜金拝受のご報告いたします。

社会福祉法人芳香会 常務理事 宇留野 功一

平成二十五年度には、事業への表彰だけでなく、芳香会で長年勤務して頂いた管理者四名にも「社会福祉事業功労者表彰」を頂きました。

☆全国社会福祉協議会会長表彰

特別養護老人ホーム 宇留野常務理事

☆茨城県知事表彰

諸のとう舎・小倉施設長

☆県社会福祉協議会長表彰

つくし園・篠塚施設長

療護園・落合施設長

今後とも宜しく願います。



つながり∞ふくしま 協力プロジェクト ～2013～

平成二十四年度に引き続き、「つながり∞ふくしま」への協力を行いました。今年度は、仲間を増やし、より多くの種を被災地へ送ることを目標に行っておりました。具体的には、**ひまわりの花の育成を近隣の学校十校**に協力頂き、収穫された**花から種を採取する作業を茨城県内の養護老人ホーム八施設**に行っており、**「出来ることでの協働」**を実践しました。

4月～5月

近隣学校へ配布する種や苗は、当法人の養護老人ホーム、ケア・アシスタンスのご利用者が中心となって準備を行いました。施設内の園芸クラブの活動として、毎日積極的に世話をして頂きました。

5月～6月

近隣学校へお届けした際には、苗の贈呈式を開いて頂きました。夏季の間に育ったひまわりは二メートルを超えたものも見られ、また、ひまわりを育てている農家の協力により、五千個以上のひまわりが集まりました。



協力校へ苗をお届けしました
学校ごとに活動主体を確立
種を入れる袋を制作中！
紙すき活動で制作した封筒
小学4年生が進行しての贈呈式！
活動意欲が高まりました。
育てた苗は約2,000株！
水まきなどは日課になりました。

9月～10月

収穫されたひまわりは、県内の養護老人ホームへお届けにあがり、一施設当たり約五百個の花の種採り作業を依頼いたしました。

「ご利用者が楽しみながら取り組まれたので、予想よりも早く終わりました」との声が届いています。

近隣学校・県内養護老人ホーム等、協力頂いた仲間は「約六百五十名」、最終的に集まった種の量は「約二百五十キロ」となりました。

10月18日(金)

そして、平成二十五年十月十八日(金)、皆様から集まった種を福島県郡山市の共同作業所「にんじん舎様」にお届けしました。

多くの仲間との協働により種を集めたことをお伝えし、にんじん舎の方から「震災の影響で農業や畜産等の仕事が出来なくなることから始めたひまわりの仕事ですが、このように形で多くの人の協力を得て、勇気を貰いました。」と感謝の言葉を頂きました。

今回の活動を通して、多くの仲間が出来、大きな成果を生むことが出来ました。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。なお、この活動の詳細は芳香会HPにも掲載させて頂きますのでご覧頂ければ幸いです。



協力施設から種が届きました。※1施設 約20kg～30kg
手作りタグをつけました。※紙すき活動で制作
正しいながら無段階的に取り揃えられたそうです。
1ネット2.5kg(約5万粒)の種
種を取り外す作業です。
外した種を乾燥させます。
「1日1時間、1カゴ分」と自分たちで目標を決め活動。
「良い種を届けよう」と手作業で行いました。

次世代育成委員会トピックス

前々回の「せいらんそう」第二十二号で掲載しました通り、今年度は次世代育成行動計画の達成を目指し、より子育てしながら働きやすい環境作りに努力しております。

その一環として開設しました「事業所内託児所ひばり・ツグミ」において、平成二十五年十一月九日(土)、「まちのおんがくやさん」公演 親子わいわいコンサートを開催致しました。当日は、ひばり・ツグミの利用職員の他、牛ヶ谷保育園・たま保育園の利用児、卒業児にも参加いただき、賑やかなイベントとなりました。また二託児所の保育士が作成したDVDの上映も行われ、保護者の皆さんは子ども達の懐かしい姿に目を細めている様子でした。「まちのおんがくやさん」のお兄さん、お姉さん、楽しい時間をありがとうございました。



次世代育成委員会では、このような事業所内託児所の運営の他にも、育児休業・産前産後休業の周知や年次有給休暇の取得促進等の活動も行っております。そして現在、次世代育成行動計画の達成のため、**【男性職員の育児休業取得】**を募集しております。お子さんが生まれたお父さん、当法人の男性育児休業取得者第一号になってみませんか。ご興味・ご希望がありましたら、各地区の次世代育成委員、または法人本部事務局までお気軽にご連絡下さい。

次世代育成委員会

児童福祉施設トピックス

たま保育園で

は十一月一日、年

長児二十名と職員

三名、保護者七名

(ボランティア)

で筑波登山に行き

ました。年長の行

事として恒例だっ

た筑波登山でした

が、最後まで登りきれない子が増

え、数年実施していませんでした。

しかし、日々の運動遊び、雑巾がけ

を取り入れたことで子どもの体力が

戻りつつあるのを感じ、三年前から

復活しています。

(たま保育園)

「やっほー！」元気に登ったよ



今後とも日々の体力作りを実施していききたいと思えます。付き添いでご参加頂いた保護者の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。

今年筑波山神社のお祭りの日と重なり、山頂から神輿が降りてくる場所に遭遇しました。登山の途中、思いがけず縁起の良い神輿を見ることが出来、貴重な体験となりました。この日は他の団体も多く混雑しており、登山するのに三時間もかかってしまいました。山頂の良い景色、良い空気のもとで美味しいお弁当を食べたり、展望を楽しんだりしました。帰りはロープウェイで下山し、楽しい思い出となったようです。



牛ヶ谷保育園では、楽しく食

べる体験を通して、食への関心を育み、食を営む力の基礎を培うための取り組みとして食育を行い、月に一回子どもたちが自分でおやつ作りをするクッキングをしています。

今年度より二つのグループが交互にクッキングを行うことで少人数になり、手作りの作業が一人ひとりゆっくりにできるようになりまし



月、子どもたちは勿論、職員も初めての「手打ちうどん」にも挑戦してみました。栄養士より教えてもらった「ませる」「こねる」「のばす」の作業がありました。普段の泥団子作りや粘土遊びが活かされていました。また三歳児も初めて包丁を握りましたが「怖い」より「やりたい」が先で、保育士と一緒に包丁を握り、生地が切れると大喜びでした。作ったうどんを給食室で茹でてもらい、おやつ時間に食べると、太いの長い短いの色々な大きさになりましたが「おいしい」の声がこちらからより聞こえ、自分で作って食べるおやつは格別で、どの子からも笑顔がこぼれていました。



今後、子どもたちの豊かな食の体験を積み重ねていけるようにクッキングを楽しんでいきたいと思います。



十一月五日、

牛ヶ谷保育園の

全園児とたま保

育園の年長児を

対象に犬とふれあ

う機会を設けまし

た。老人福祉施設

や児童福祉施設を中心

に犬の施設訪問を行って

いるボランティア

ア団体の方に

ご協力いただき、

保育園の園庭に

八頭のワンちゃ

んたちが来てくれ

ました。

興奮気味の子も、

少し怖がって

いる子も「ワン

ちゃんとの挨拶

よ！」と教えて

もらうとゆっく

り近寄り上手に

挨拶を交わして

「ふわふわだね

」「かわいい

ね」とお友だち

と語りあいなが

ら犬とふれあい

すぐに仲良くな

ることができ

ました。



は、まず自分の二オイを嗅いでもらうことだよ！」と教えてもらうとゆっくりに近寄り上手に挨拶を交わして「ふわふわだね」「かわいいね」とお友だちと語りあいながら犬とふれあいにすぐ仲良くなることができました。幼児クラスの子たちは、ふれあいの他にお世話の仕方を教えてもらい実際にエサをあげたり、ブラシをかけたりとお世話にも挑戦しました。

一時間という短い時間でしたが、貴重な体験をし喜ぶ子どもたちの表情をたくさん見ることができました。

園に動物を招きふれあう機会は今回が初めてでしたが、このような体験を重ね、お友達や動物に対する思いやり、命の大切さを感じて行けるよう今後も行っていきたいと思います。



研修参加報告

当法人では、法人内外の研修に積極的に参加し、御利用者のみなさまにより良いサービス提供が出来るよう、研鑽を積んでおります。今年度もたくさんの方の研修に参加致しましたが、その一部をご紹介します。

自分を知って次のステップに

【法人内リーダー研修】



入社してから約八年半が経過し、後輩への指導や全体を把握した仕事等が求められる様になりました。しかし、それが出来ていないことへの不安や焦りを感じている中、十一月五日～六日の二日間「**リーダー職員研修会**」に参加させていただく機会を頂きました。不安を抱えての参加でしたが、同じようにリーダーとして期待されていたり、既にリーダーとして働かれている方々と交流し、同じ不安や自分の持っていないかった考え方に触れることが出来、とても励みになりました。また、DISKというツールを用いて、自分の強みや弱みや行動の特性の理解をしました。自分の弱みは自覚しているつもりでしたが、どのように改善すれば良いか分からずにおり、今回の研修では改善方法や強みの活かし方を学ぶ良い機会となりました。研修の中で先生が「なりたいパターンにあわせて自分の行動を意図的に変えることで、パターンを変えることができます」とおっしゃっていました。自分には「無理」「苦手」「出来ない」と諦めてしまうのではなく、今回学んだアプローチの仕方や強みの活かし方、改善点



等を意識しながら、日々の仕事に取り組んでいきたいと思えます。そして、良いリーダーになれるよう務めていきたいと思えます。今回はこのような貴重な研修に参加させていただきありがとうございました。

青嵐荘特別養護老人ホーム 介護員 松崎 淳子

魅せよう！プロの技

【オールジャパンコンテスト】



今年で四回目となる「**オールジャパンケアコンテスト**」を視察するため、十一月十一日から十二日に鳥取県の西部に位置する米子市に行ってきました。コンテストの内容は、介護従事者が選手となり六つの分野で課題に応じた実技を披露し、アドバ

イザーによる審査を経て優秀者が選考されるといったもので、当日は全国から百二十名もの選手が集結しました。選手の皆さんからは、審査員や多数のギャラリを前にしての緊張感はほとんど感じられず、むしろ内に秘めた熱い想いが伝わってくるほど持てる力を尽くしている姿を目の当たりにし、同じ介護従事者として身の引き締まる思いがしました。選手達にとっては、実技内容を競い合うこと以上に、介護に対する自分自身の自己研鑽と理解を深めるための正にチャレンジの場であるのでしょうか。また、会場には不思議と一体感があり、選手や主催者関係の方々はもちろん、見学者も含めて全員でつくりあげている催事であるという印象を受けました。それ故、介護従事者不足が深刻化しつつある中、このコンテストが介護に対す

る地域社会の関心を高め、介護職の魅力を伝える良いPRにもなればと願わずにいられせん。次回以降このコンテストに当法人から意欲ある介護職を募って、選手としてぜひ輩出できればと思います。

青嵐荘療養園 副主任生活支援員 大塚 篤史

キラッと輝く介護の「質」

【介護甲子園】



平成二十五年十一月十七日（日）、日比谷公会堂で行われた「**第三回介護甲子園**」を見学して行かれた「オールジャパンコンテスト」も見学してきたが、全く色の違うものであった。介護甲子園ではエントリーした八〇三事業所の中からネット投票などで選ばれた五つの事業所が日々のケアを映像等を通して、発表という形式で競い合うものであった。各事業所の発表では音響や映像を駆使し、いかに簡潔明瞭に伝えられるかがカギとなっており介護の質を競い合う意味では鳥取のケアコンテストのほうがより実践的であった。しかし、相手に伝える技術や方法は学ぶべきものが多くあり世間的な「介護」のイメージを払拭しうる介護甲子園は今後の介護業界にとって一石を投じるものになるのではないかと感じた。今回介護甲子園等へ参加し学

びえた事を教訓とし、今後芳香会の事業発展のために役立てていきたいと思う。また自らのスキルアップのため今後ともこのような講習等に参加し自己研鑽に努めていきたい。

芳香会病院青嵐荘療養園

サービス管理責任者 中島 尚哉



芳香会活動報告



新たな給食業務への第一歩



当法人が給食業務の全てを外部委託に切り替えてから、今年で八年目となりました。最初に外部委託した青嵐荘路のとう舎では十三年目です。長くお付き合いしている業者もあり、給食業務は安定しておりますが、その中でもサービスのマンネリ化や職員の高齢化など様々な問題も出てきました。そこで去る平成二十五年十一月十二日(火)、「給食委託業者合同調整会議」を開催致しました。会議には、現在取り引きを行っている三業者にお集まり頂き、問題提起や今後の給食業務の展望等をお伝えさせて頂きました。

私たちは普段、宇留野理事長に教えて頂いた「三つの目」を意識して仕事をしています。ターゲットを絞り狭く深く把握する「虫の目」、高い場所から全体を把握する「鳥の目」、流れを読む「魚の目」。この中で給食委託業者の職員は「鳥の目」と「魚の目」を持つことが難しい立場にあると思います。今回の会議では、この二つの目を持って頂く良い機会になったと考えています。

これからもお互いに協力して、より良い食事サービスを利用者の皆様にお届けしたいと思っております。

青嵐荘ケア・アシスタンス

栄養係長 北條早苗



生ゴミ液肥の活用方法

当法人では、平成二十三年度に生ゴミを液体に処理する生ゴミ処理機を導入しました。処理後の液体は「植物への液肥」として使用でき、職員の家庭菜園等、様々なところで活用されています。

使用者の声が届いていますので、何名かを抜粋してご紹介いたします。

臭いはあまり気になりません。大根を蒔いてみました。が、順調に育ちました。

S 看護師

家庭菜園で育てたの草花が元気な成長しているの嬉しいです。

T 養育員

H 栄養士

無料で貰えるのが魅力的でした。庭の草花が元気な成長しているの嬉しいです。



大根



ゴーヤ



ブルーベリー

芳香会スケジュール

- 一月 十六日 第三回 個人情報保護推進 研修会
- 一月 十九日 家族に感謝デイ 相撲鑑賞会
- 一月 中旬 第二回 苦情受付体制 委員会主催研修会
- 二月 十八日 年金セミナー
- 二月 二十五日 ワークライフバランス セミナー

編集後記

先日、市内の国際交流協会主催ウィンターフェスティバルに参加しました。一緒に参加した比国の介護職員も三度目で、ボランティアとして積極的に活躍してくれました。しかし、年々参加者も減り開催時間も短縮されたことが少し寂しく思えた一日でした。(光)

茨城県が四十七都道府県魅力度ランキング最下位となり、県民の日は多くのマスコミで取り上げられ、PR下手も県民性と紹介されていきました。魅力ある県としてPRすることも地域貢献！、来年はPR力を身に付けられるよう「頑張っぺ」(加)

近所の神社のお祭りに役員として参加しました。たくさんの子ども達も訪れ、元気いっぱいにもみ合っていました。子ども達に比べ屋台の元気の無さが目立ちました。十年後にはどうなっているか、心配です。(川)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。